

# 認知症の対応及び支援

「いつ、どこで、どのようなサービスを受けることができるか」を示しています。

	元気	認知症の疑い	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
本人の症状 (症状や行動の例)	○自身の健康維持 ○地域の支援者として活動	○物忘れがあるが、金銭管理や買い物、書類作成等を含め、日常生活は自立している	○買い物や金銭管理等にミスがみられる ○新しいことがなかなか覚えられない	○服薬管理ができない ○電話の対応や訪問者の対応などが1人では難しい ○同じことを何度も言ったり聞いたりする	○着替えや食事、トイレ等が上手くできない ○「物を盗られた」と言いたす ○外出時、道に迷うことがある	○ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難である ○食事介助が必要である ○家族の顔や名前がわからなくなる
介護状態	要支援相当		要介護相当			
やっておきたいこと 決めておきたいこと (家族などへのお願い)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●認知症を予防するための日常生活の過ごし方</li> <li>●認知症に関する正しい知識や理解を深める</li> <li>●家族や友人等で考える機会を持つ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療や介護について勉強しましょう：認知症の種類によって経過や介護の方法が異なります。地域包括支援センターやかかりつけ医へ相談しましょう。</li> <li>●手助けをしましょう：できていたことができなくなると、本人の自信を喪失させ、症状を悪化させます。少しの手助けでできることがたくさんあります。</li> <li>●医療や介護保険サービスなどを利用しましょう：サービスを利用し、本人や家族の介護の負担を和らげるようにしましょう。</li> </ul>			
相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> <li>○久山町地域包括支援センター</li> <li>○久山町役場福祉課</li> <li>○久山町役場健康課</li> <li>○久山町社会福祉協議会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○民生委員主任児童委員</li> <li>○かかりつけ医や専門医</li> <li>○ケアマネジャー</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○認知症医療センター（医療法人社団緑風会 水戸病院）</li> <li>○福岡県認知症介護相談窓口</li> <li>○認知症の人と家族の会 福岡県支部</li> <li>○福岡県若年性認知症サポートセンター</li> </ul>	
予防や体の維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病予防健診受診等による生活習慣病対策</li> <li>健康づくりのための運動（ピアジェフィットネスで実施している体操等）</li> <li>地域での交流（ふれあい・いきいきサロン、シニアクラブの活動等）</li> <li>趣味や特技を生かした活動（習い事やボランティア活動等）</li> <li>介護予防や認知症予防のための事業（ふれあいスクール、地域デイサービス、認知症予防カフェ わくわく茶わ会）</li> <li>介護保険サービスの利用（通所型サービス、通所介護、通所リハビリ、訪問リハビリ等）</li> </ul>					<p>詳細につきましては、役場福祉課へお問い合わせください。</p>
町等が実施している生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>老人世帯巡回員、見守り事業、緊急通報システム、行方不明の備え（SOSネットワーク）</li> <li>金銭管理やサービス利用の契約など（日常生活自立支援事業：社会福祉協議会、成年後見制度）</li> <li>介護保険サービスの利用（訪問型サービス、訪問介護、訪問入浴、短期入所生活介護等）</li> <li>高齢者福祉サービス（紙オムツの支給、配食サービス等）</li> </ul>					
利用できる住まいの種類	見守り付きの住宅（軽費老人ホーム：ケアハウス 有料老人ホーム 高齢者向け住宅）		介護付きの住宅（介護付き有料老人ホーム）		<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭的な環境と地域の交流のもとで共同生活する住宅（認知症高齢者グループホーム）</li> <li>介護を受けられる施設（老人保健施設・特別養護老人ホーム）</li> </ul>	
支える体制づくり	認知症について勉強したり、家族同士の情報交換や交流する場（認知症サポーター養成講座、すまいるカフェ（家族会）：社会福祉協議会）					

★認知症は本人や家族だけではできないことや負担になることがあります。困ったことがあれば抱え込まずに、早めに地域包括支援センターやかかりつけ医などに相談しましょう。